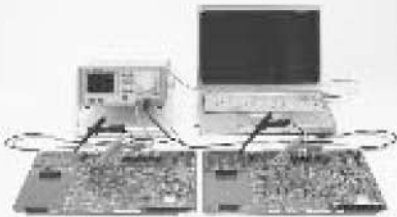


京西テクノス

独自商品の開発に力

実装部品検査システム投入

【立川】京西テクノス
(東京都八王子市、白井



努社長、0426・52
・1341)は、オリジ
ナル商品の開発に力を入

れる。本業の計測機器修
理・校正、フィールドサ
ービスで培ったノウハウ
を生かして開発を進めて
きたもので、今月、第1
弾として実装基板搭載部
品の不良解析を非通電状
態で行うシステム「アタ
ッカーワン」写真」を投
入した。今後は製品のバ

リエーションを増やしな
がら、新たな柱に育て
る。

開発したシステムは、
各種基板上の回路の交流
波形をパソコンに記憶さ
せ、検査対象との波形照
合により良否を決定す
る。良品データをパソコ
ンに蓄積することで、回
路図がなくても検査でき
るほか、電気の専門知識
がない人でも不良個所の

特定が可能。価格は64万
8000円。初年度100台
の販売を見込む。

同社はオリジナル商品
開発を強化するため、開
発子会社の京西クリエイ
ト(東京都渋谷区、同、
042・352・510
1)内にプロダクト開発
部を設置した。製品開発
は「自分たちが仕事をす
る上で必要なものを基本
にする」(白井社長)と
している。